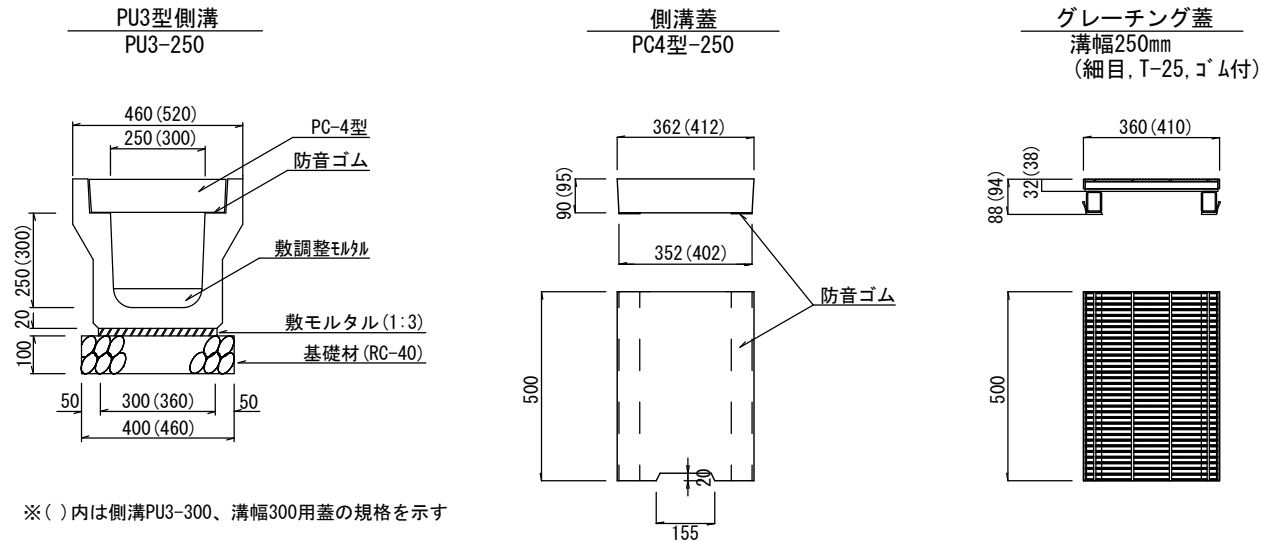


側溝工事仕様標準図

S=1/20

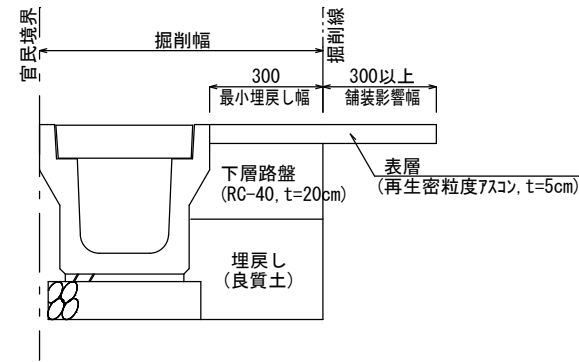


※()内は側溝PU3-300、溝幅300用蓋の規格を示す

【注記】

- 側溝蓋、グレーチング蓋は騒音及びガタツキ防止のため防音ゴム付き製品を使用すること。
- グレーチング蓋には盗難防止用金具を設置すること。
- グレーチング蓋（細目, T-25）の設置間隔は5mに1枚とする。
- 二次製品をカットして使用する場合の最小寸法は、側溝は1/2以上、甲蓋は30cm以上とする。
- 敷調整モルタルを設置する場合は厚さ3cm以上、勾配0.3%以上とする。
- 側溝上流端部は厚さ10cmの小口止めを施工すること。
- 側溝の蓋（グレーチング蓋）は、側溝本体の継目と合わせるように設置すること。

側溝敷設舗装復旧

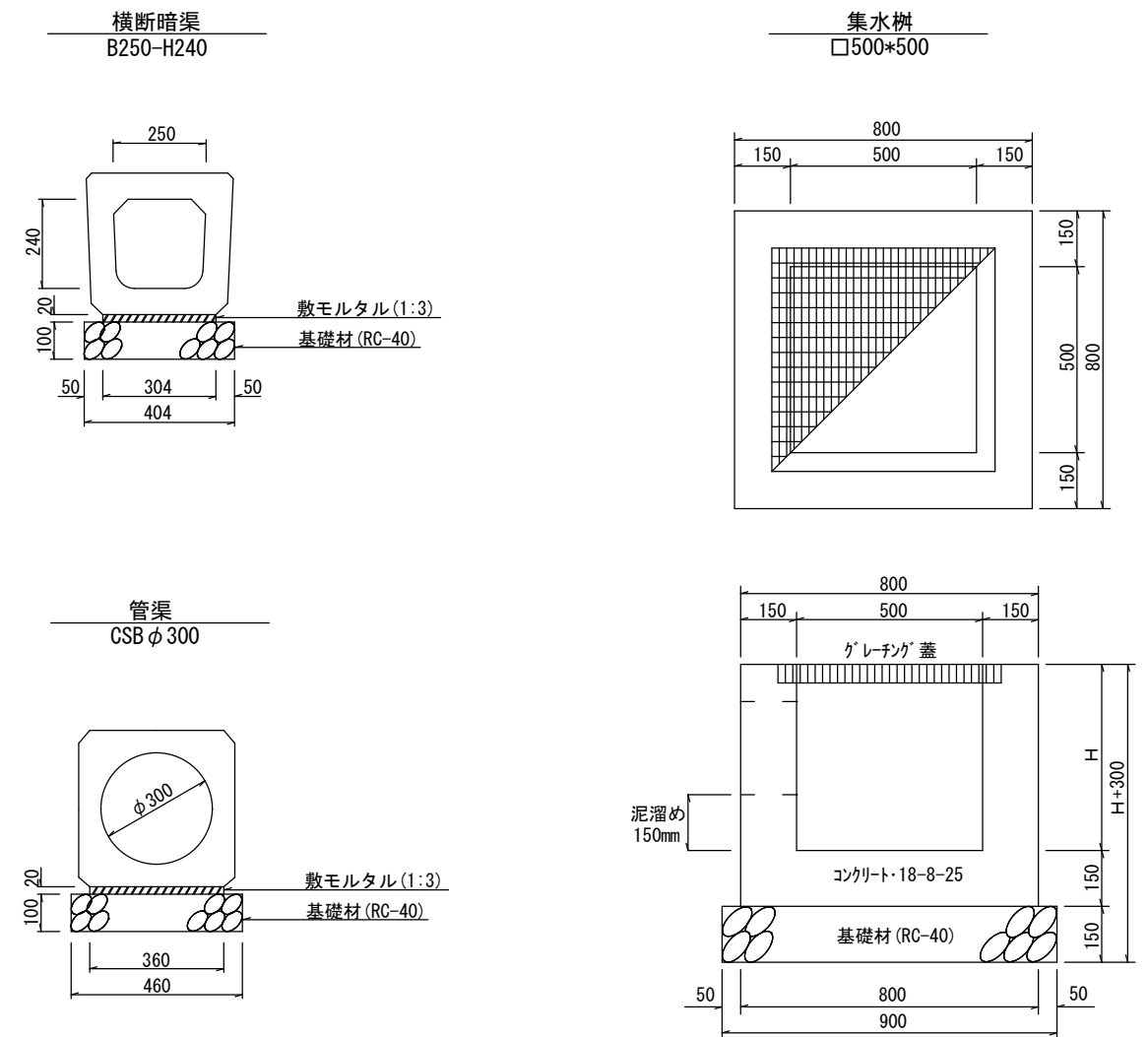


【注記】

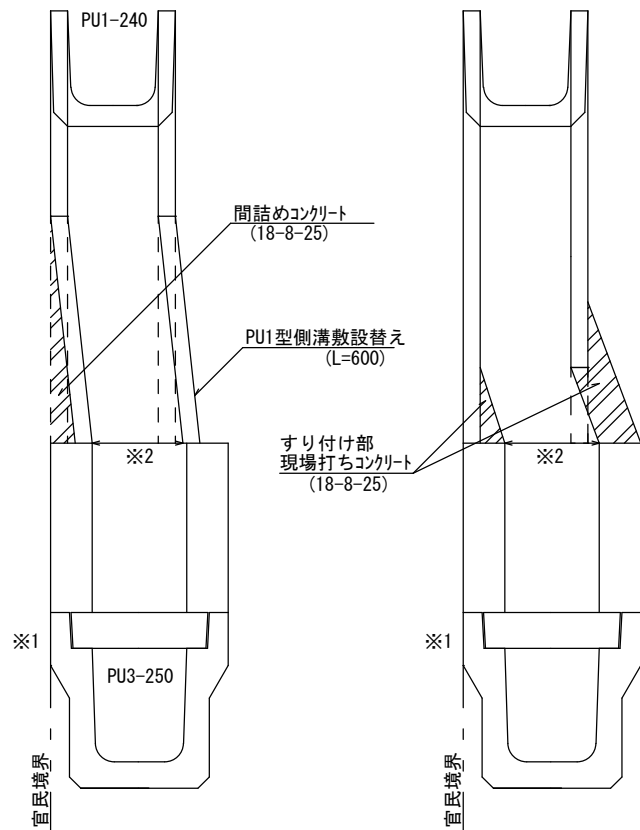
- 愛知県建設局発行「工事標準仕様書」に従い施工すること。
- 舗装復旧の舗装構成は道路管理者と協議すること。
- 舗装端又は舗装切れ目(カッター跡)までの距離が掘削線から1.5m未満となる場合は、その部分も含めて一体で復旧すること。
- 既設舗装厚が左図よりも厚い場合は既設と同等で舗装すること。
- 路面標示は原形復旧すること。
- 舗装の切断は、コンクリートカッター等で直線かつ路面に垂直に行うこと。
- 埋戻し材は良質土または改良土を使用すること。
- 平板ブロック・インターロッキング等の復旧については同種、同色材にて施工すること。

暗渠工・集水柵工事仕様標準図

S=1/20

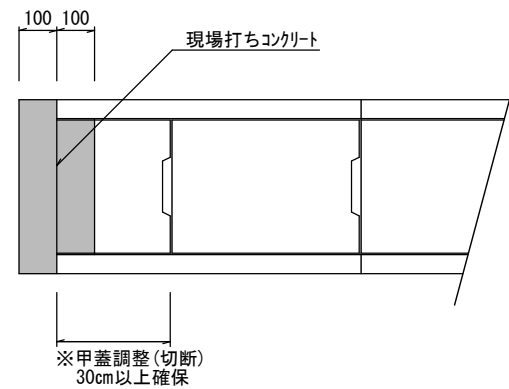


既設側溝すり付け
PU1-240からPU3-250に敷設替えの例

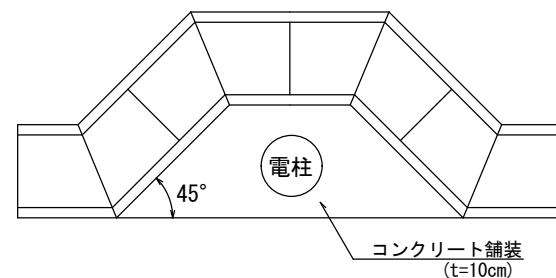


※1 道路側溝を新設又は敷設替えする場合は、官民境界に沿って施工すること。
※2 通水断面を確保すること。

側溝上流端部処理
小口止め



電柱等まわりの迂回処理
電柱よけ



※電柱よけは45° コーナーの製品を使用すること。

【注記】

- 集水柵の内幅は接続する側溝内空幅(もしくは管径)+200mmを標準とする。
- 柵蓋はグレーチング蓋(細目, T-25, 取手付き片ヒンジ110° 開閉)を使用すること。また、ヒンジ位置は民地側へ開閉するよう留意すること。
- 泥溜めは150mm 確保すること。
- 既設側溝(管渠等)との接続部については同等の通水断面が確保できるように擦り付けを行うこと。
- 接続させる側溝(管渠等)は集水柵の内壁まで差し入れ、接続口は十分にモルタルを詰めて漏水や土砂の侵入を防ぐ処理を行い、内外面の上塗り仕上げを行うこと。